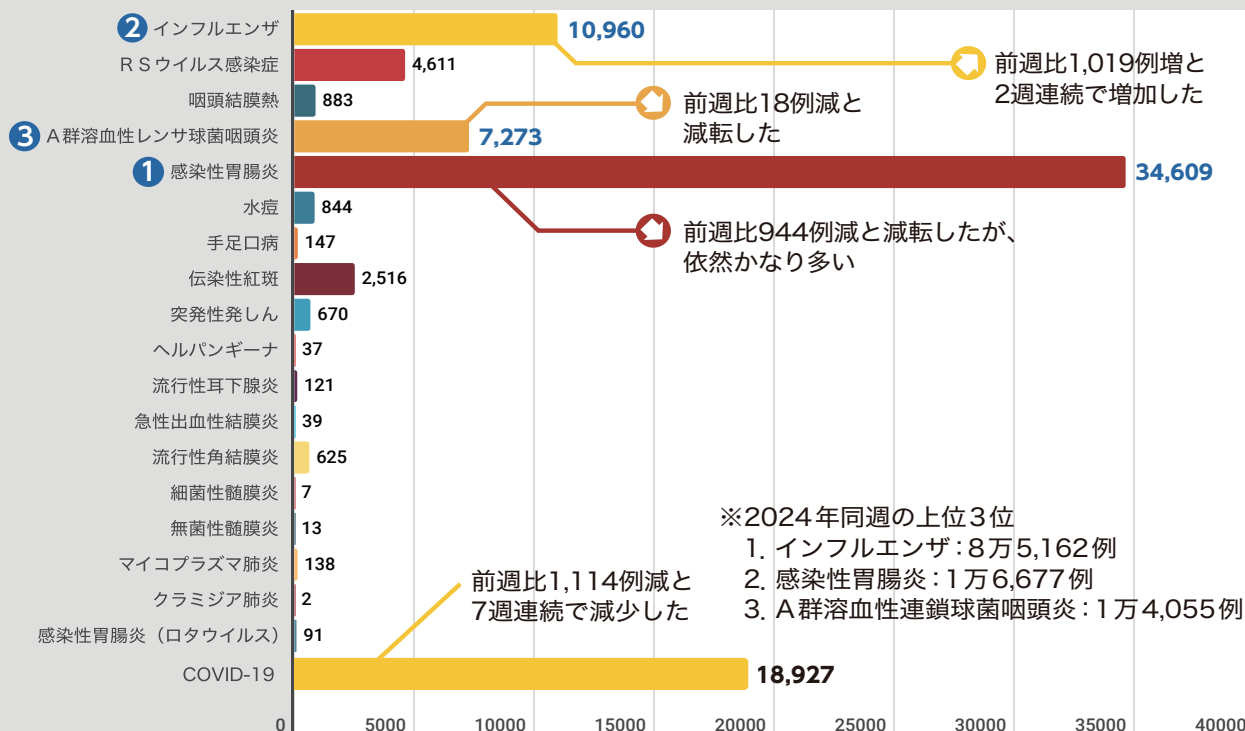




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎の流行続く、伝染性紅斑が大幅増

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 3,312例
2. 神奈川県: 2,429例
3. 大阪府: 2,226例

定点当たりの報告数(11.10)

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 21.92 | 4. 宮崎県: 18.06 | 7. 山口県: 15.42 | 10. 千葉県: 13.75 |
| 2. 愛媛県: 19.28 | 5. 鹿児島県: 17.88 | 8. 山梨県: 15.25 | 11. 広島県: 13.51 |
| 3. 香川県: 18.39 | 6. 熊本県: 17.02 | 9. 富山県: 15.03 | 12. 埼玉県: 13.50 |

② インフルエンザ

報告数

1. 北海道: 879例
2. 神奈川県: 874例
3. 東京都: 865例

定点当たりの報告数(2.23)

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 新潟県: 5.86 | 4. 栃木県: 4.12 | 7. 千葉県: 3.20 | 10. 福島県: 2.70 |
| 2. 長野県: 5.36 | 5. 北海道: 3.96 | 8. 和歌山県: 3.08 | 11. 静岡県: 2.57 |
| 3. 沖縄県: 4.96 | 6. 富山県: 3.73 | 9. 群馬県: 2.86 | 12. 山形県: 2.51 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 623例
2. 北海道: 587例
3. 埼玉県: 434例

定点当たりの報告数(2.33)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 富山県: 5.76 | 4. 愛媛県: 4.53 | 7. 新潟県: 4.07 | 10. 長崎県: 3.49 |
| 2. 茨城県: 5.40 | 5. 北海道: 4.32 | 8. 大分県: 4.00 | 11. 秋田県: 3.26 |
| 3. 鳥取県: 4.74 | 6. 岩手県: 4.10 | 9. 山形県: 3.92 | 12. 福岡県: 3.12 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は944例減と減転したが、依然3万5,000例に近い。大分県では定点当たりの報告数が21.92と警報レベル(20.00)を超えている。インフルエンザは2週連続で増加し、1万例を超えた。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は18例減と減転した。COVID-19は7週連続で減少した。RSウイルス感染症は220例増と10週連続で増加した。伝染性紅斑は723例増と大幅に増加し、2,500例を超えた。定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)にある地域は福島県(2.23)と青森県(2.16)。以下、山形県(1.88)、宮城県(1.75)、北海道(1.60)と続き、特に東北地方と北海道で流行が続いている。流行性角結膜炎の定点当たりの報告数は沖縄県で9.22と突出し、警報レベル(8.00)を超えた。地域によりさまざまな感染症が流行しており、今後の動向に注意したい。